

●ソ連崩壊により社会そのものがリストラされたキルギス（クルグズスタン）。激変する生活と復活する親族の絆。歴史と庶民生活の交錯を克明に描く初の報告。

中央アジア農村の親族ネットワーク

クルグズスタン・カラタル村の経済移行と社会変化

四国学院大学 吉田世津子 著

●目次

はじめに

序論

第一章

現代中央アジア社会研究の視座
1 イントロダクション／2 ポスト・ソヴィエト・中央アジア研究の概観／3 中央アジア遊牧民の社会集団研究の概観／4 本書の視座

第二章

調査地概要
1 クルグズスタンの概要／2 カラタル村の概要

第三章

ソフホーズ解散

第四章

民営化の歴史的社会的背景
1 集団化以前の社会環境／2 集団化と地理的経済的分節化／3 「カリーニン」の生成／4 カリーニンからカラタルへ——一九九五年以降

第五章

割当集団の編成の検討
1 カラタル村の割当集団／2 葬式の分担金

第六章

相互扶助の親族ネットワーク
1 サヤックの分担金／2 相互扶助のネットワーク

第七部

親族ネットワークの生成過程

第七章

「カリーニンのサヤック」の生成
1 集団化と父系出自分節の再分節化／2 相互扶助と父系出自親族の再分節化／3 父系出自親族になる過程

第八章

慶弔事の往來の分析
1 慶弔事の分類／2 慶弔事に行き来する人びと／3 饗応の場／4 生と死のあとで——「カリーニンのサヤック」の慶弔事

第九章

慶弔事をめぐる意味の枠組の考察
1 慶弔事をめぐる説明回路の検討／2 家畜の屠殺をめぐる問題／3 スイと生活理念／4 ソヴィエト的脈絡における生活理念の検討

第三部

ポスト・ソヴィエト時代の親族ネットワーク

第一〇章

サヤックの農業経営体編成
1 中央アジア諸国における独立自営農化政策の概観／2 カラタル村の独立自営農／3 実現しなかった「サヤック農業経営体」

第十一章

祖先儀礼の復興と内実
1 ノールズと祖先儀礼の復興の脈絡／2 サヤックのノールズ

第十二章

独立自営農の時代の親族ネットワーク
1 サヤックの親族ネットワークの考察／2 中央アジアにおける社会ネットワークの比較考察

結語

あとがき
初出一覧／参考文献／写真・図表一覧／用語解説／索引

ところで現在のクルグズスタンにおいて体制移行がもたらしているのは、単なる政治経済体制の変化だけではない。農村においてはコルホーズ・ソフホーズの雇用労働者から、農業企業や協同組合のメンバー、更には独立自営農家などへの転換を促進してきた「Giovarelli 2001: 93」。このことは、単なる職業の変化のみならず生活様式の変化、更には親族や隣人との関係、彼らのあいだで行われる相互扶助慣行、また現金や商業に関する価値観といった分野に至るまでの、社会的文化的大変動をも引き起こしつつある「cf. 吉田 二〇〇〇a」。

最初に挙げたように本書の最大の目標は、一九九〇年代の経済移行がカラタル村の村人の社会にどのような変化をもたらしているのかを、具体的に明らかにすることである。そのためには、まずは村人たちにとつての市場経済化すなわち彼らのソフホーズが解散した際に、どのような関係をよりどころとして対処していたのかを考察の出発点としたい。だがこれまで述べてきたように、村人の生活においてソ連体制Ⅱ社会主義生産システムはソ連時代を通じて内在化されていた。従って考察の対象には、最初の体制移行すなわち社会主義化の歴史が含まれている。そのため本書では、議論の対象となる時代や地域、人びとの範囲が、いく度か切り換わる構成を取っている。「はじめに」より

体裁

・A5判・上製・カバー
・三九二頁

定価

・八四〇〇円
(本体価格/税別)

発行所 風響社

114-0014 東京都北区田端四一―四一九
電話〇三(三八二八) 九二四九
http://www.fukyo.co.jp

風響社

TEL: 03-3828-9249

本体

八四〇〇円

部

吉田世津子 著

中央アジア農村の親族ネットワーク

クルグズスタン・カラタル村の経済移行と社会変化

ISBN4-89489-017-8 C3039 ¥8400E

〔お客様控ええ〕

ご氏名

ご住所

お電話

月 日

注 文 書

センター
取扱品
流通

出版
地方